Fujitsu
トラステッドサプライチェーンサービス
導入ガイド

2026年8月

富士通株式会社

© 2026 FUJITSU LIMITED

本書について

本書は、Fujitsu トラステッドサプライチェーンサービス（以下、本サービスという）の導入にあたりご一読いただきたい情報をまとめたものです。サービス概要、利用者・管理者の基本的な操作および補足情報等を記載しています。

© 2026 FUJITSU LIMITED

改版履歴

NO	版数	改版日付	主な改版内容
1	初版	2026/06/01	ー

© 2026 FUJITSU LIMITED

用語定義

用語	説明
NIST SP800-171	米国国立標準技術研究所（NIST）が定めている、CUIを保護するためのサイバーセキュリティ対策基準
CUI	Controlled Unclassified Information 米連邦政府が指定する、漏洩した場合に防衛や重要インフラに支障が出る「管理された非機密情報」
OTP	ワンタイムパスワード
SaaS	Software as a Service
クレデンシャル	認証情報
組織管理者	本サービスのお申し込み時に設定した組織の管理者
電話OTP	電話のSMSでOTPのコードを送信して利用する認証方式
ハードウェアOTP	ハードウェアトークンと紐づけてOTPのコードを利用する認証方式
NOC	Network Operation Center ネットワークインフラのパフォーマンスを監視し、問題を検出・解決することを専門とする集中監視センター
SOC	Security Operation Center 情報システム、ネットワーク、アプリケーション、データを継続的に監視・分析し、脅威から保護することを専門とする集中監視センター
CMMC	Cybersecurity Maturity Model Certification 保護するためのサイバーセキュリティ要件をどの程度満たしているかを評価・認証するフレームワーク

© 2026 FUJITSU LIMITED

目次

1. サービス概要
2. 利用者の基本操作
3. 管理者の基本操作
    1. 管理者の主な作業と作業の流れ
    2. 操作手順
4. 補足情報等

© 2026 FUJITSU LIMITED

1．サービス概要

© 2026 FUJITSU LIMITED

Fujitsu トラステッドサプライチェーンサービス概要

FUJITSU

- **NIST SP800-171に対応、セキュアなコラボレーションを実現**
  - 業界標準であるMicrosoft Azureの国内データセンター（ISMAP*登録）で情報を保管
  - 世界15万社以上で実績のあるアプリケーションを活用しセキュアなコラボレーションを実現
  - 総合的なサポートで短期間・低コストで導入可能

＊ISMAP ・・・政府が求めるセキュリティ要求を満たしているクラウドサービスを予め評価・登録する制度

NIST SP800-171 準拠

- ファイルアクセス制御
- コミュニケーション
- データ暗号化
- ログ管理分析
- 構成管理
- 二要素認証
- インシデント管理
- ユーザー管理
- 脆弱性管理
- システム及びセキュリティの監視/分析（NOC/SOC）
- マルウェア対策
- バックアップ

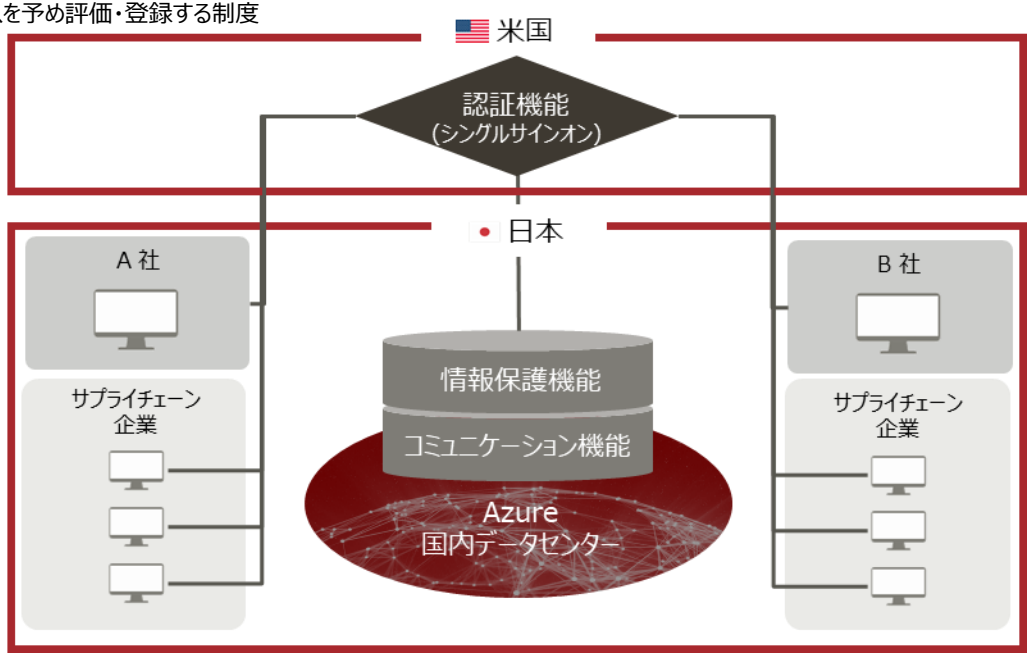
NIST CSF の５つに対応

- 特定
- 防御
- 検知
- 対応
- 復旧

侵入前

侵入後

侵入前だけでなく、
サイバー攻撃を始めとする
情報セキュリティの
インシデント発生以降
検知、対応、復旧をカバー



© 2026 FUJITSU LIMITED

「認証」「情報共有」「コミュニケーション」「セキュリティ・運用管理」の機能を強化

区分	主な機能	機能概要
ユーザー認証／管理	2要素認証	• NIST SP800-171標準の認証方式で、2要素認証を実施 • ユーザー追加／削除、アクセス権限の設定等のユーザー管理を実施
セキュア情報共有	暗号ファイル共有	• クラウド上に登録したファイルは常に暗号化して安全に管理
コミュニケーション	ユーザー間コミュニケーション	• Teamsによるユーザー間コミュニケーション機能を提供
システム運用管理	ＮＯＣ	• サービスのトラブルに迅速に対応するためシステム及びネットワークを監視トラブルが発生した際のインシデント対応を実施 • システムの構成ソフトウェアの管理やバックアップ等の運用管理
	ＳＯＣ	• 機器のセキュリティログを収集／監視し、専門技術者による相関分析 • システムの脆弱性について定期的に診断し、システムの健全性を常に確保

© 2026 FUJITSU LIMITED

導入のメリット

FUJITSU

1. ソブリンサービスとしてデータ・運用の主権を国内で保持

業界標準であるMicrosoft Azureの**国内データセンター**で**ISMAP登録**されたクラウド基盤を活用し、**データ主権**を確保
米国の認証基盤と接続するが、システムの運用、セキュリティ監視、サポートデスク、およびインシデント対応を含む全てのサービス運用は**国内の専門家**が責任をもって実施

2. グローバルで実績のあるアプリケーション活用

米国防衛産業、航空宇宙産業などNISTセキュリティ対応で**世界15万社以上の実績のあるExostar社のアプリケーション**を活用することで、NIST SP800-171基準のセキュリティを確保。

3. 短期間・低コストで導入、低負荷での運用

各社独自でNIST SP800-171のセキュリティ要件を全て対応させるためには、長期間・高コスト。
SaaS提供により、専用の機材購入・インストール作業などが不要、運用監視やインシデント対応も提供するため、**運用負荷からの解放**。

4. 容易な操作性

Microsoft 365をベースとしているため、**グローバルなユーザーインターフェース**での操作を実現。

© 2026 FUJITSU LIMITED

NISTセキュリティ要件への適合容易性

FUJITSU

- 本サービス適用により、NIST SP800-171で要求されるセキュリティ要件の約8割に対応可能

凡例
■：該当要件
○：対応可　△：一部対応　×：対応不可

ファミリー	項目数	セキュリティ要件の概要	技術要件 85項目	非技術要件 25項目	本サービスでの対応
3.1 アクセス制御	22項目	アクセス権限の設定、許可		■	△
3.2 意識向上およびトレーニング	3項目	ポリシー等の教育、インサイダー兆候周知		■	×
3.3 監査と責任追跡性	9項目	システム活動の監視、記録	■		○
3.4 構成管理	9項目	システムの基本構成、資産目録の規定、変更管理		■	△
3.5 識別および認証	11項目	ユーザー認証、パスワード使用		■	△
3.6 インシデント対応	3項目	インシデント対応能力テスト、報告		■	×
3.7 メンテナンス	6項目	システムのメンテナンス	■		○
3.8 記録媒体の保護	9項目	記憶媒体の管理、破棄、輸送間の処置		■	△
3.9 人的セキュリティ	2項目	個人審査、異動時等の処置		■	△
3.10 物理的保護	6項目	施設への立入り管理、エスコート配置	■		○
3.11 リスクアセスメント	3項目	リスクの定期的評価、是正		■	△
3.12 セキュリティ評価	4項目	システムのセキュリティ評価、計画作成、継続監視		■	△
3.13 システム・通信の保護	16項目	通信状況の監視、不正転送等の防止	■		○
3.14 システム・情報の完全性	7項目	システムの欠陥把握、ウイルス等からの保護	■		○

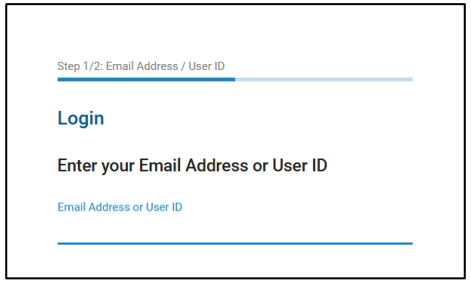
© 2026 FUJITSU LIMITED

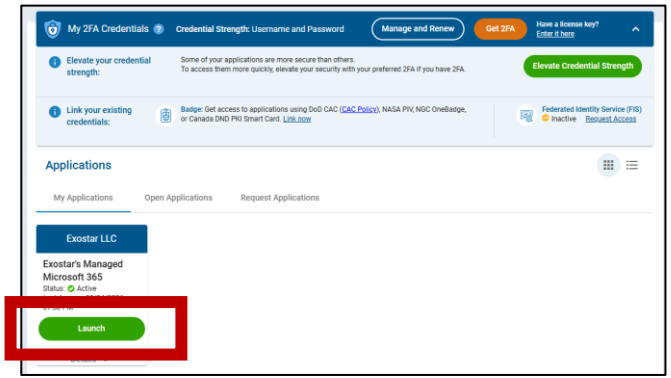
操作画面①　ユーザー認証

FUJITSU

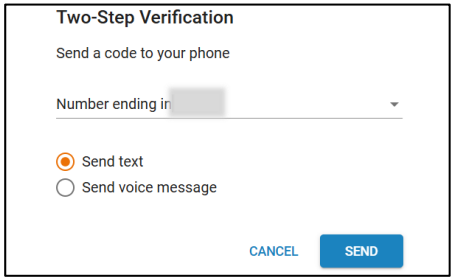
安全なMFA認証

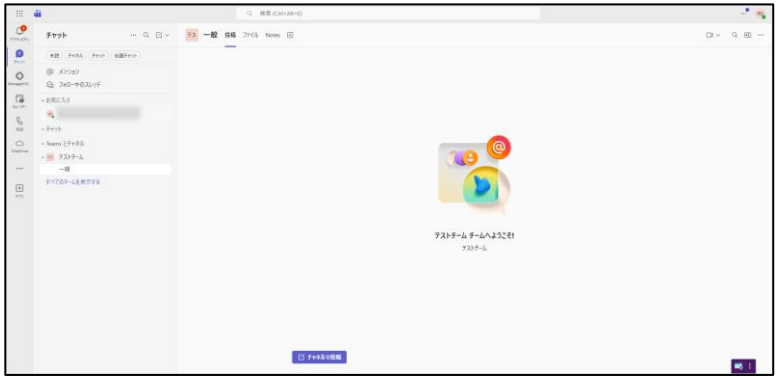
①ID/PWで認証ポータルにログイン





②OTPによる多要素認証で対象サービスにログイン





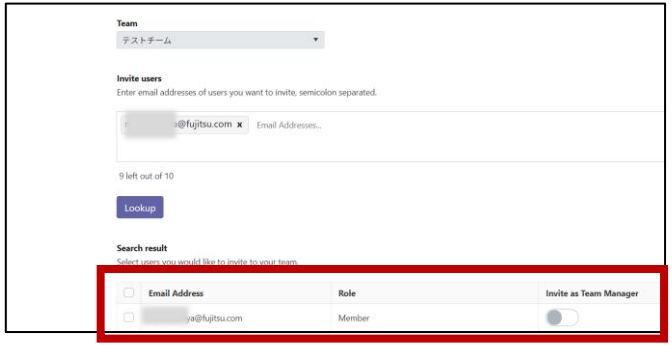
© 2026 FUJITSU LIMITED

操作画面② ユーザー管理

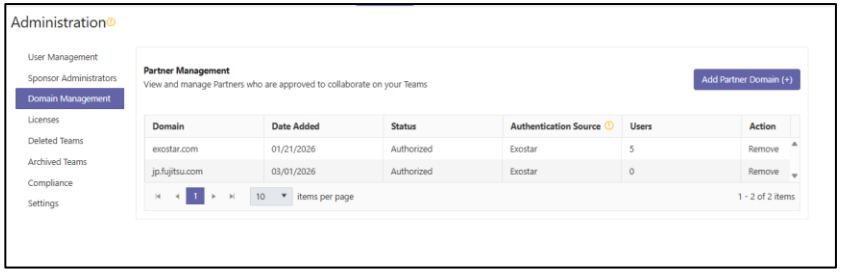
FUJITSU

適切なユーザー管理

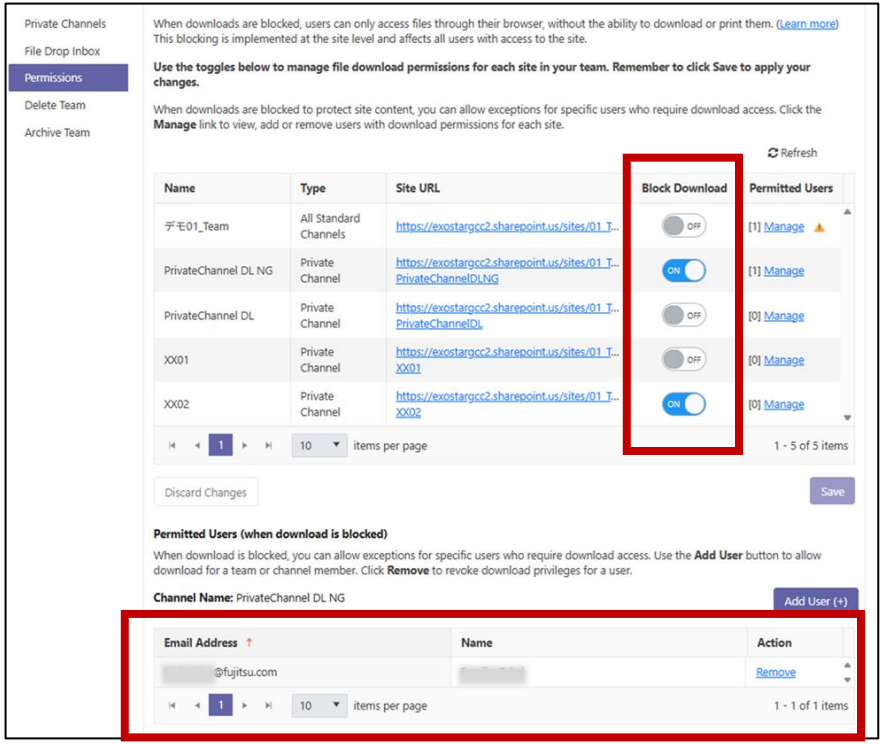
ユーザーの招待



ドメインを設定し参加ユーザーの範囲を限定



チーム・個別チャネルごとにファイルダウンロードの禁止設定が可能



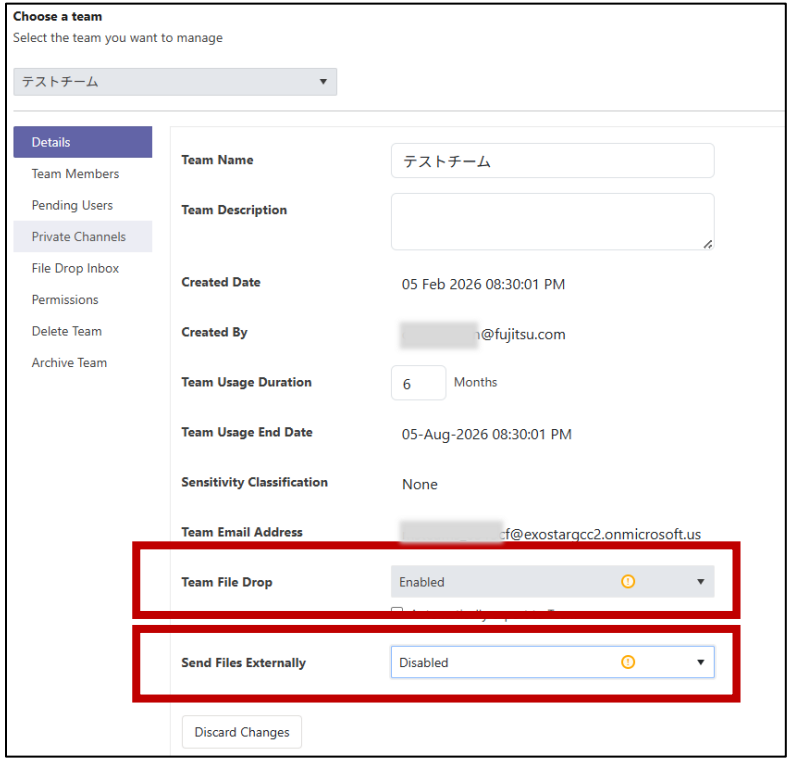
© 2026 FUJITSU LIMITED

操作画面③　外部とのファイル共有管理

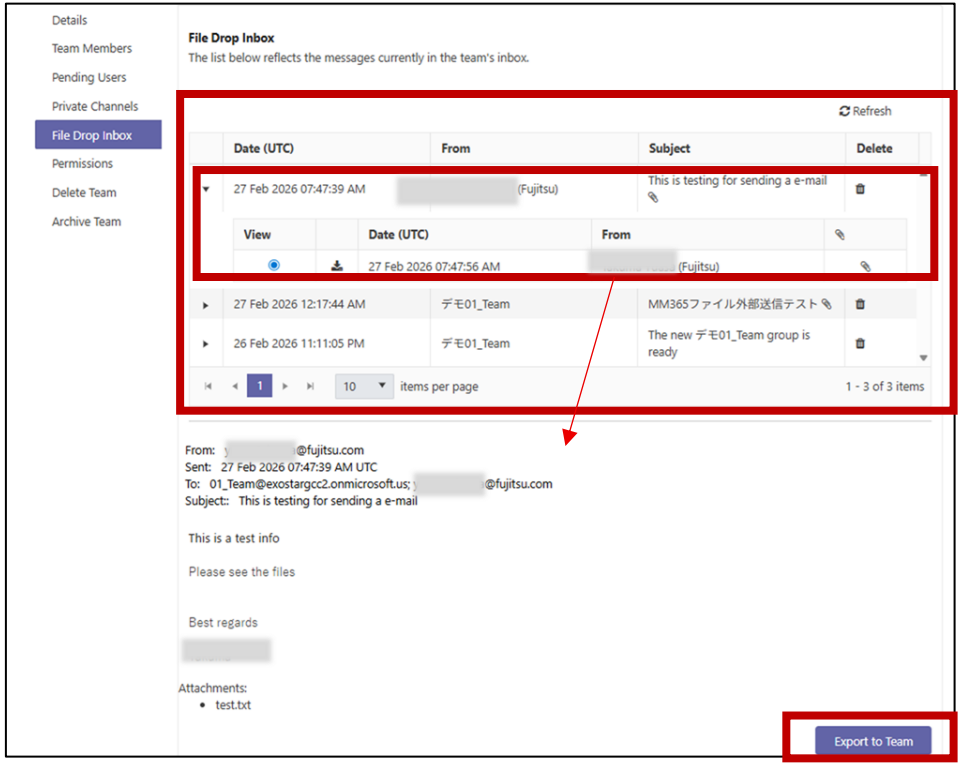
FUJITSU

- **チーム外とのファイル共有の統制が可能**

ファイルの外部共有の抑止、ファイル転送の抑止



外部とのファイル共有ログ確認



© 2026 FUJITSU LIMITED

操作画面④　セキュア情報共有/コミュニケーション

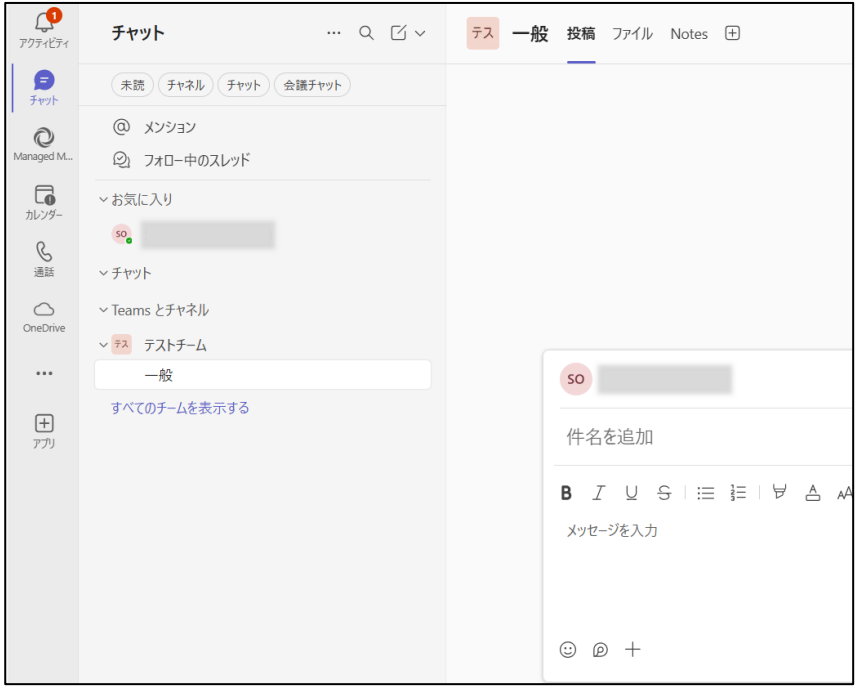
FUJITSU

M365ベースの汎用的なUI

セキュア情報共有



コミュニケーション



© 2026 FUJITSU LIMITED

MAGとMM365

FUJITSU

本サービスはMicrosoft365をベースに、運用操作性を考慮しながらNIST SP800-171に適合するためのセキュリティ機能を付加した製品です。本サービスのセキュリティ機能は以下の２つのアプリケーションで実現しています。

- MAG：Managed Access Gateway
  - 認証およびアカウント管理を行う
- MM365：Managed Microsoft365
  - セキュアな情報共有およびチーム内のコミュニケーションを行う
  - M365をよりセキュアに利用するための機能をアドオン
  - 基本的な管理機能をMM365メニューに統一

© 2026 FUJITSU LIMITED

マニュアル構成

ご提供するマニュアル類は以下のとおりです。

NO	タイトル	概要	入手方法
1	Fujitsuトラステッドサプライチェーンサービス ファーストステップガイド	本サービスを初めてご利用になる際の手順書です。	・管理者にメールにてご提供 ・サービスポータルサイト ・マニュアル共有サイト
2	Fujitsuトラステッドサプライチェーンサービス 導入ガイド	本サービスを導入する際に利用者及び管理者の方にご確認いただきたい説明資料です。サービス概要、利用者及び管理者の基本操作、留意事項等を記載しています。	・マニュアル共有サイト
3	Fujitsuトラステッドサプライチェーンサービス MAGユーザーズガイド	本サービスのMAGのマニュアルです。	・マニュアル共有サイト
4	Fujitsuトラステッドサプライチェーンサービス MM365ユーザーズガイド	本サービスのMM365のマニュアルです。	・マニュアル共有サイト
5	Fujitsuトラステッドサプライチェーンサービス ご紹介資料	本サービスのご紹介資料です。	・サービスポータルサイト ・マニュアル共有サイト

※ 資料等は予告なく更新いたします。必要に応じて最新の資料をご確認ください。

© 2026 FUJITSU LIMITED

２．利用者の基本操作

１．初回ログイン
２．MAG
３．MM365

© 2026 FUJITSU LIMITED

利用者の主な操作

- オンボーディング
  - MAGアカウント登録
  - 初回ログイン
  - OTP有効化
- MAG
  - ログイン
  - 個人アカウント情報管理
    - アカウント情報管理
    - パスワード変更
    - OTP管理
  - OTP認証
- MM365
  - Teams
    - チャット
    - オンライン会議
    - ファイル共有
    - チャネル作成
  - アカウント情報確認

© 2026 FUJITSU LIMITED

オンボーディング

① MAGアカウント登録
　招待メール★1により個人情報を登録し、組織を選択してMAG登録を依頼します。

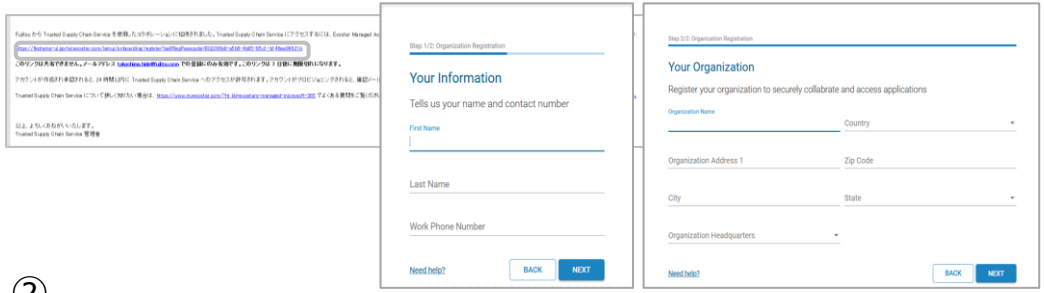
- ✓ ※★1「」
- ✓ 管理者の承認処理で登録完了です。

② 初回ログイン
　初回ログイン依頼メール★2のURLにアクセスし、パスワードを設定します。

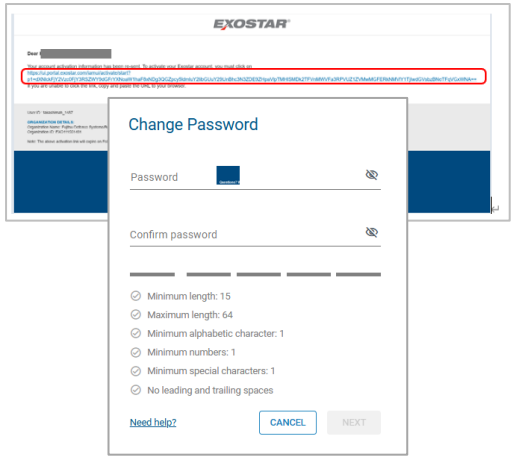
- ✓ ★2「Action Required: Exostar Account Activation Instructions is sent」
- ✓ パスワードの設定
  数字・アルファベット大文字・
  アルファベット小文字・記号（）
  の４つの組み合わせで15文字以上

③ OTPの有効化
　ライセンスキーを入力してOTPを入力し、OTPデバイスを紐づけて有効化します。

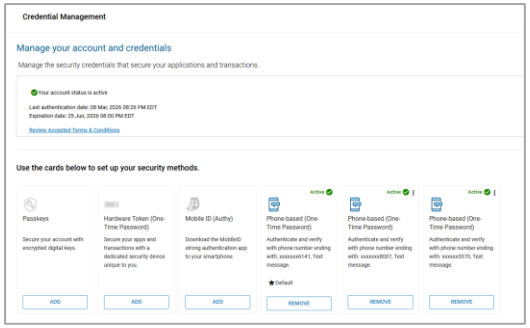
①



②



③



© 2026 FUJITSU LIMITED

MAG> ログイン

① ポータルサイトでログインをクリック
https://portal.trusted-supplychain.jp

② トラステッドサプライチェーンサービスのタイルをクリック

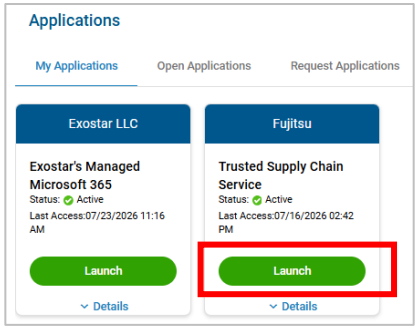
③ IDまたはメールアドレス入力

④ パスワード入力

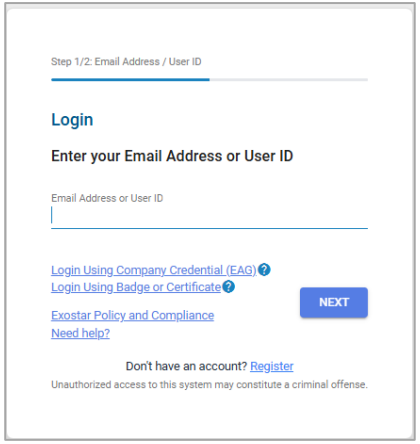
①



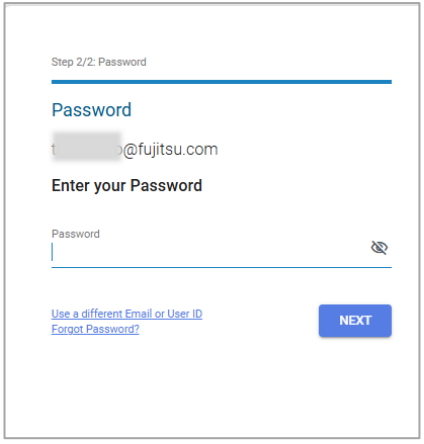
②



③



④



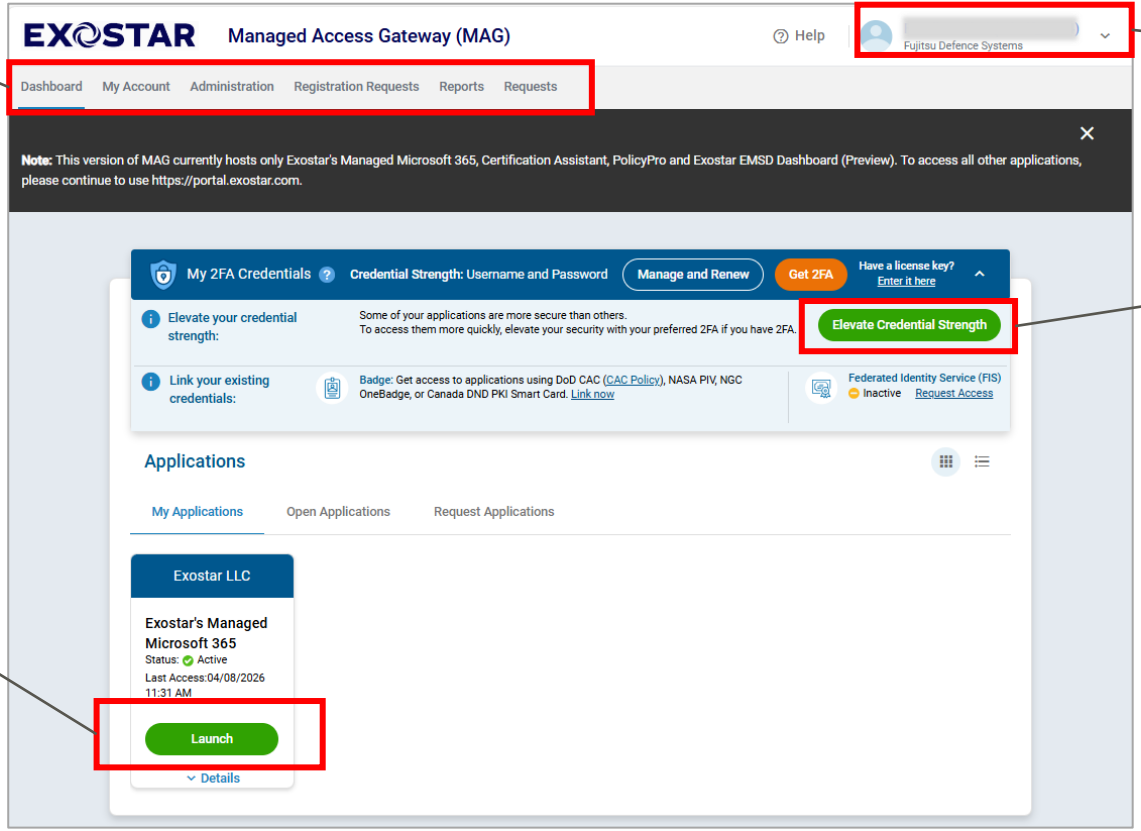
© 2026 FUJITSU LIMITED

MAG> Dashboard画面（ホーム画面）

- ホーム画面です。

メニュータブ

各種操作のためのタブ
利用者は以下2つを使用可能
・Dashboard
・My Account



アカウント情報

ログイン中のアカウント情報およびログアウトが可能

2要素認証

クリックすると2要素認証を行える

トラステッドサプライチェーンサービス

トラステッドサプライチェーンサービスのアクセスタイル

© 2026 FUJITSU LIMITED

MAG> MyAccount画面

- アカウントの各種設定を行います。

Edit Profile

アカウント情報の表示・変更を行う

View Organization Detail

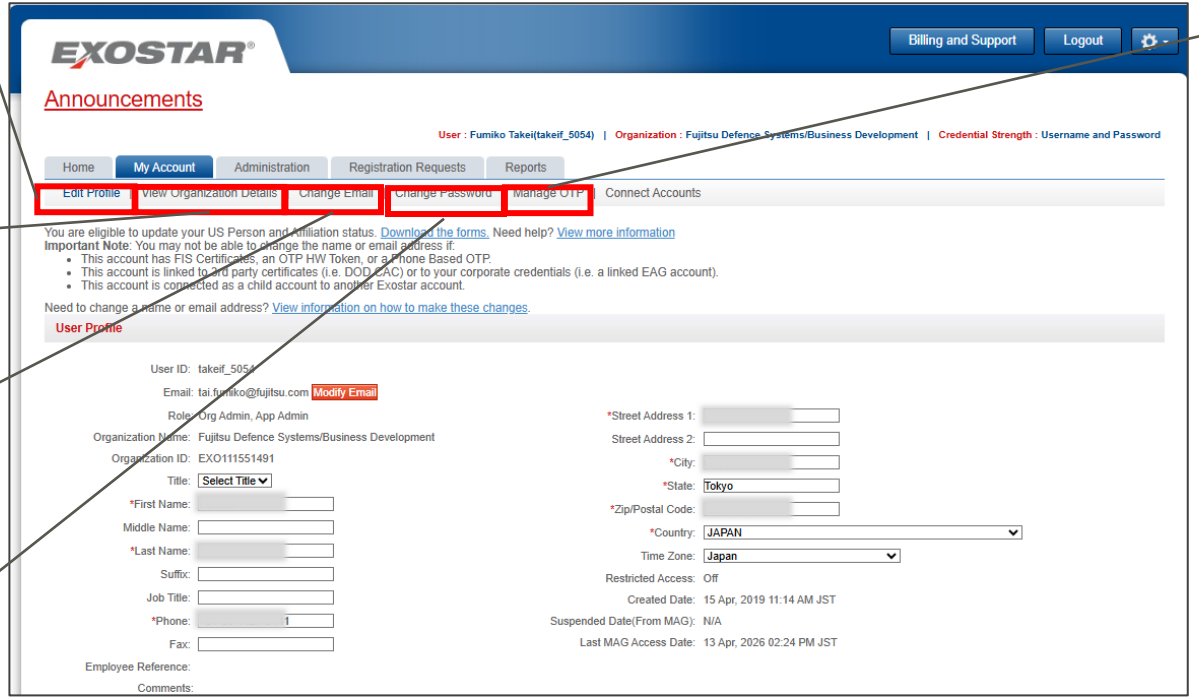
組織情報を表示

Change Email

Eメールの変更を依頼する

Change Password

パスワードを変更する



Manage OTP

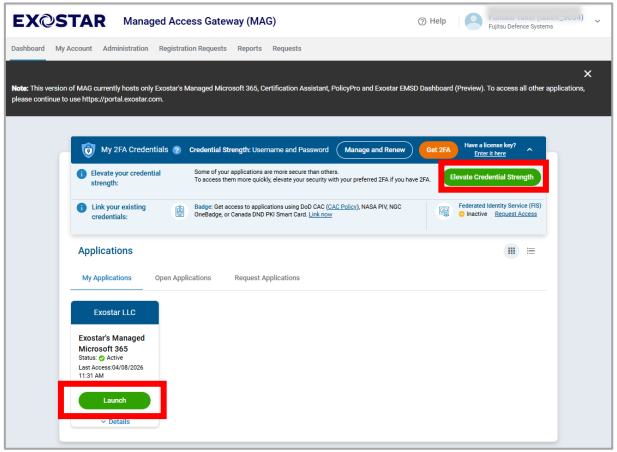
OTPの登録、状態確認、設置変更を行う

© 2026 FUJITSU LIMITED

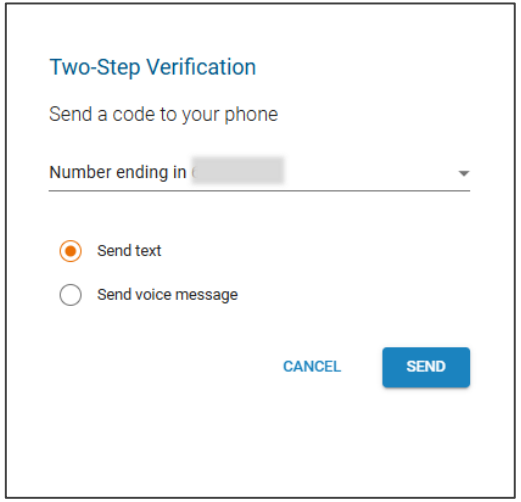
MAG＞OTP認証

- OTP認証手順です。

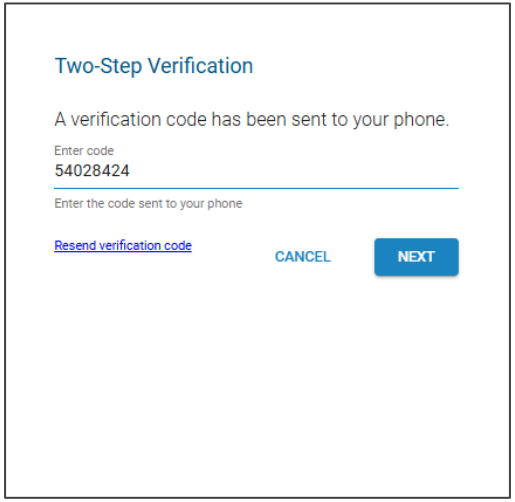
①MAG URLにアクセス



②SMSでワンタイムパスワードを送信



③ワンタイムパスワードを入力



※OTPトークンの場合はトークンのボタンを押してワンタイムパスワードを生成

© 2026 FUJITSU LIMITED

MM365＞Teams

■ Teamsホーム画面です。

投稿

チームでチャットが可能

MM365メニュー

MM365の総合メニュー。利用者はアカウントやチームの情報確認が可能

共有済み

共有ファイルを表示

今すぐ会議

オンライン会議が可能

Team

所属しているチームが表示される



© 2026 FUJITSU LIMITED

MM365> ファイル共有画面

■ ファイル共有画面です。

アップロード

ファイルのアップロード

新規

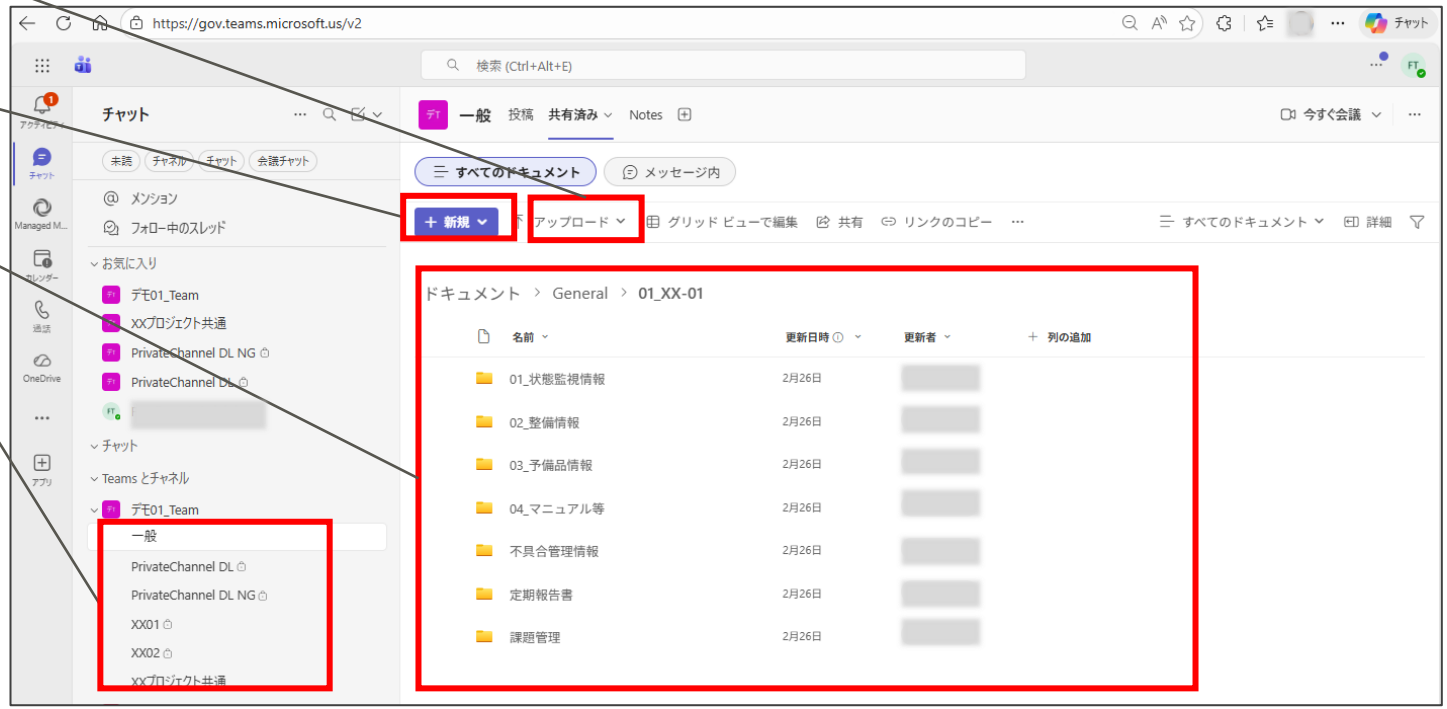
ファイルやフォルダを作成可能

フォルダ・ファイル表示

フォルダやファイルの表示領域

チャネル

共通とプライベートの２種類のチャネルあり。共有チャネルはチーム全員に表示され、アクセス可能。
プライベートチャネルは指定された利用者のみに表示され、アクセスは限定される。



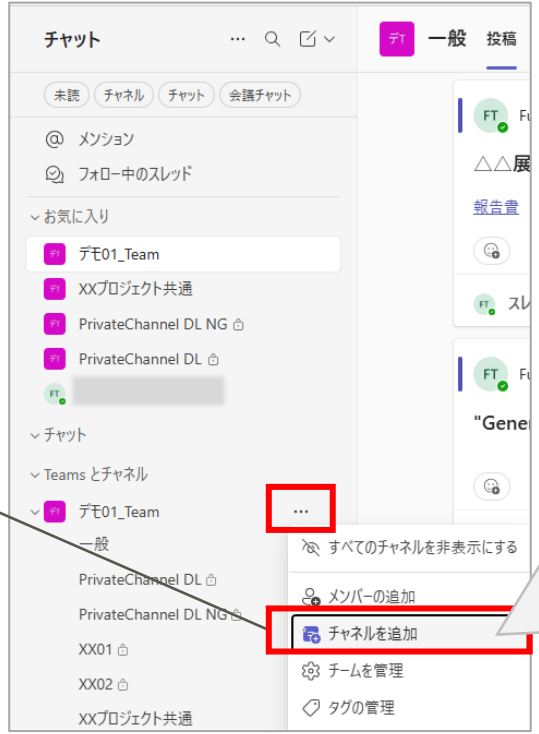
© 2026 FUJITSU LIMITED

MM365＞Teams＞チャネルを追加

■ チャネルの追加を行います。

チャネルを追加

チームで共有のチャネルを作成





© 2026 FUJITSU LIMITED

MM365＞MM365メニュー＞日本語画面に変更

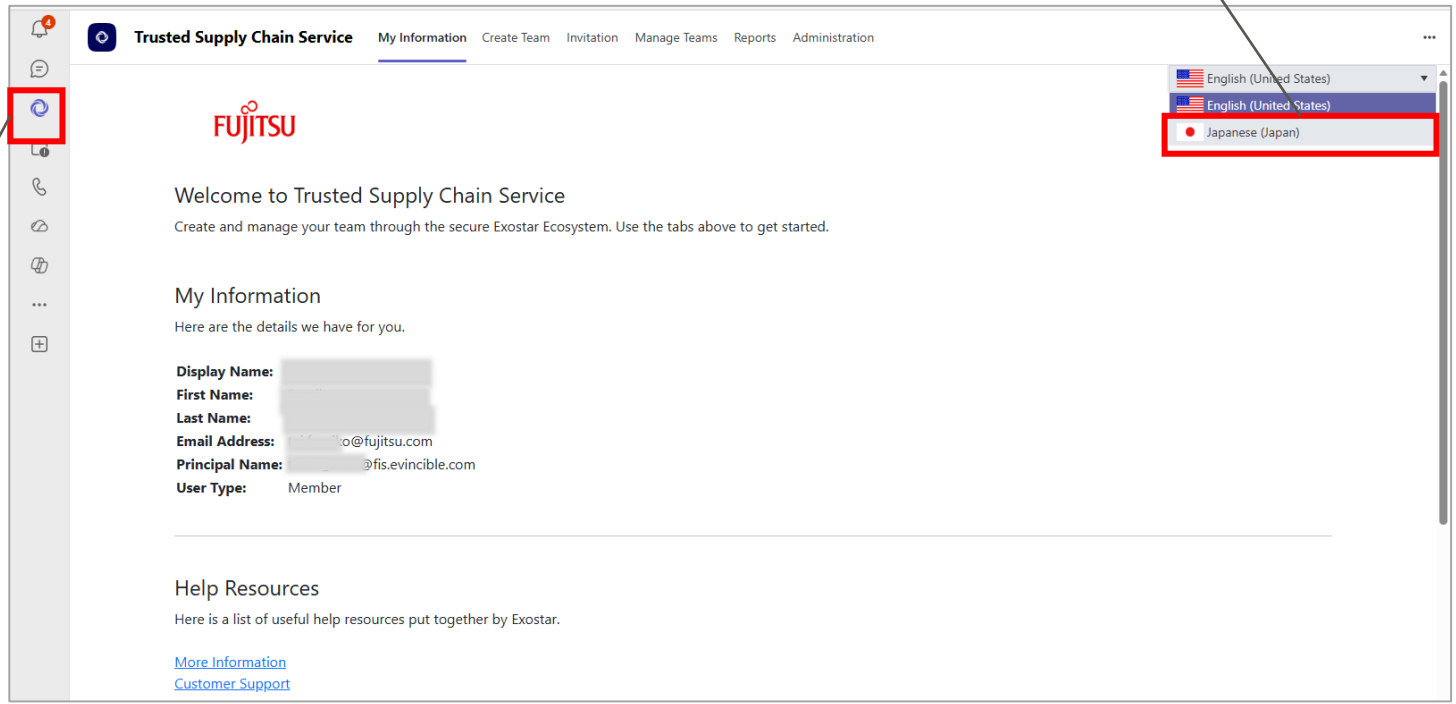
- 画面表示を日本語に変更します。

言語変更メニュー

日本語画面表示変更

MM365メニュー

MM365の総合メニュー



© 2026 FUJITSU LIMITED

MM365＞MM365メニュー＞My Information

- アカウントの情報を表示します。

MM365メニュー

MM365の総合メニュー

アカウント情報

自分のアカウント情報を確認可能



© 2026 FUJITSU LIMITED

３．管理者の基本操作

１．管理者の主な作業と流れ
２．操作手順

© 2026 FUJITSU LIMITED

管理者の主な作業の流れ

※太字は必須作業

	NO	作業項目	作業概要	種別
基本作業	1	チーム作成	チームを作成する	MM365
	2	参加ドメイン設定	チームに参加を許可するドメインを設定する	MM365
	3	スポンサーアドミン設定	スポンサーアドミンを設定する	MM365
	4	**ユーザー招待**	チームに参加を許可するユーザーを招待する　→★利用者は初回ログインを行う	MM365
	5	**サービス利用申請承認**	利用者の初回ログイン後、利用者のサービス利用申請を承認する（１人づつ実施）	MAG
	6	**チーム管理＞チーム設定**	チームの各種設定を行う	MM365
	7	チーム管理＞PRIVATEチャネル作成	チーム内で限定メンバーで共有するための個別チャネルを作成・設定する	MM365
	8	チーム管理＞権限設定	チームやチャネルにアクセスできるメンバーを設定する	MM365
	9	フォルダ作成	必要があれば共有ファイルを登録するためのフォルダを作成する	MM365
	9	**利用開始アナウンス**	利用者に利用開始のアナウンスを行う　→★利用者はOTPを有効化し、利用開始する	－
必要時に行う作業	20	レポート	アクセス履歴を確認する	MM365
	21	チームステータス管理	チームの利用状況を確認する	MM365
	30	ユーザー管理	ユーザーのアカウント情報確認、パスワードリセット、利用停止等を行う	MAG
	31	レポート	アクセス履歴等を確認する	MAG
	99	チーム管理＞チーム削除	サービス利用終了時にチームを削除する	MM365

© 2026 FUJITSU LIMITED

MM365＞MM365管理者用メニュー

- MM365の総合メニューです。チーム作成、ユーザー登録、チーム管理等を行います。

Create Team
チームを作成

Invitation
チームにメンバーを招待

Manage Teams
チームの各種設定を実施

Reports
各種アクセス履歴を出力

Administration
管理者の設定やライセンス数・ストレージ利用量等の確認を実施



© 2026 FUJITSU LIMITED

- チームを作成します。



新チーム名
チーム名を設定

期間
チームの利用期間を設定

Teamの作成はMM365でスポンサーアドミンのみ実施可能

※デフォルトで１つのチームは存在するため、チーム作成は必須作業ではありません。

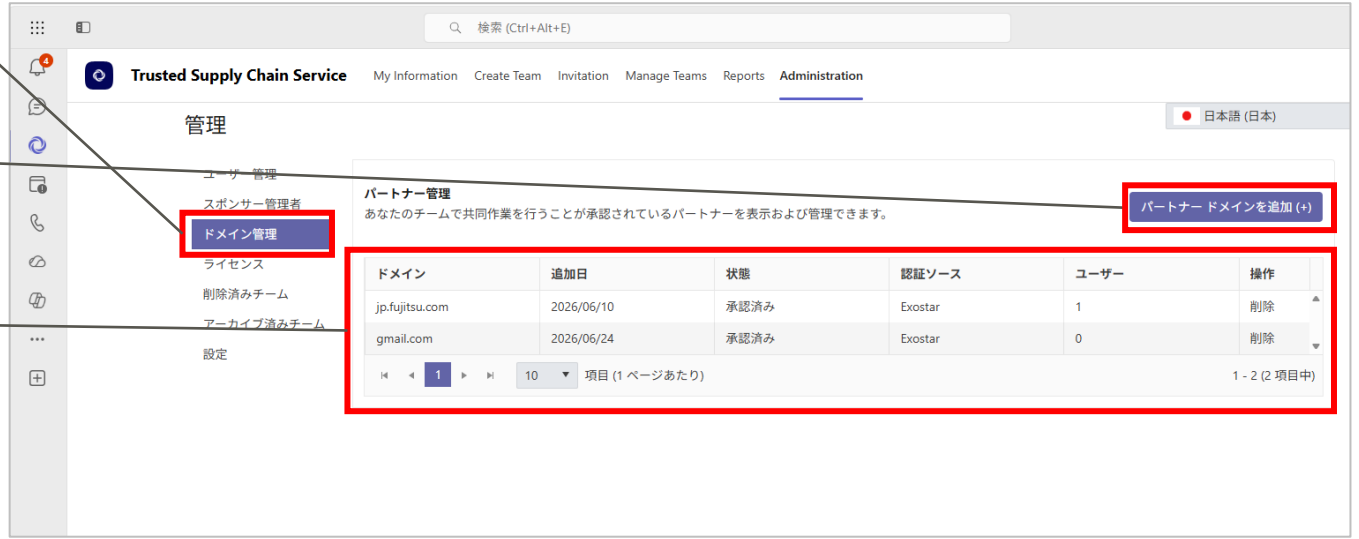
© 2026 FUJITSU LIMITED

- チームに参加可能なドメインを設定します。

ドメイン管理
チームに参加させるドメインを管理

パートナードメイン追加
チームに参加させるドメインを追加

パートナー管理
チームに参加が許可されているドメイン一覧



© 2026 FUJITSU LIMITED

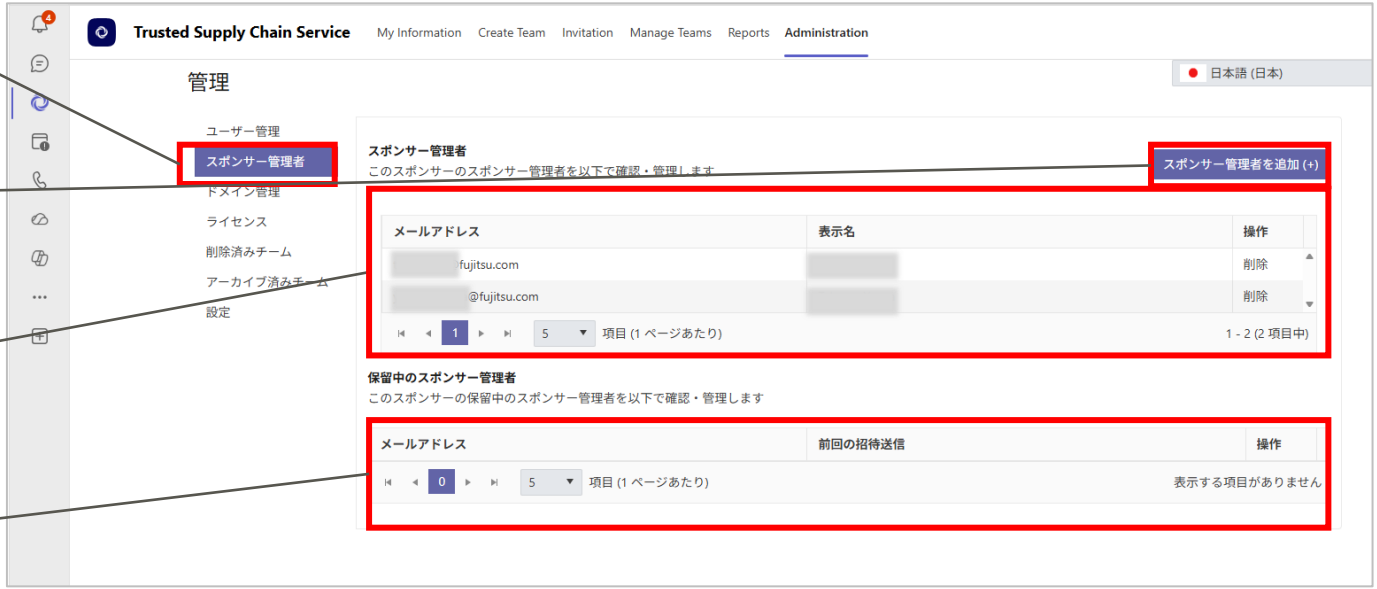
スポンサーアドミン（組織管理者）を設定します。

スポンサーアドミン
スポンサーアドミンの設定

スポンサーアドミン追加
スポンサーアドミンを追加

スポンサーアドミン一覧
設定されているスポンサーアドミンの一覧

保留中一覧
招待されて保留中のスポンサーアドミン一覧



© 2026 FUJITSU LIMITED

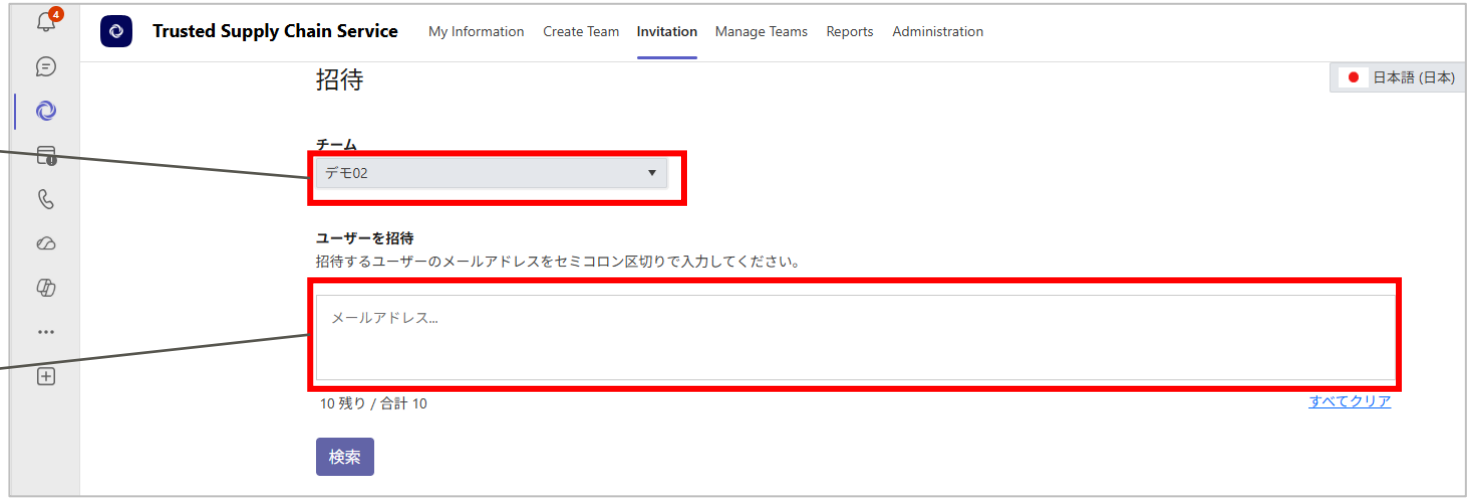
- チームに参加させたいユーザーを設定します。

チーム

設定したいチーム名を選択

招待ユーザー

選択したチームに招待したいユーザーのメールアドレスを設定



MM365ユーザーの場合はLookupで表示され、ユーザーを追加し、招待メールが送付される。
非MM365ユーザーの場合はLookupで表示されるがペンディングとなる。

設定後、対象ユーザーに招待メールが自動送信される。
ユーザーが初回ログインを行うと、管理者に承認依頼が届くのでMAGで承認処理を行う。

© 2026 FUJITSU LIMITED

MAG＞Registration Requests

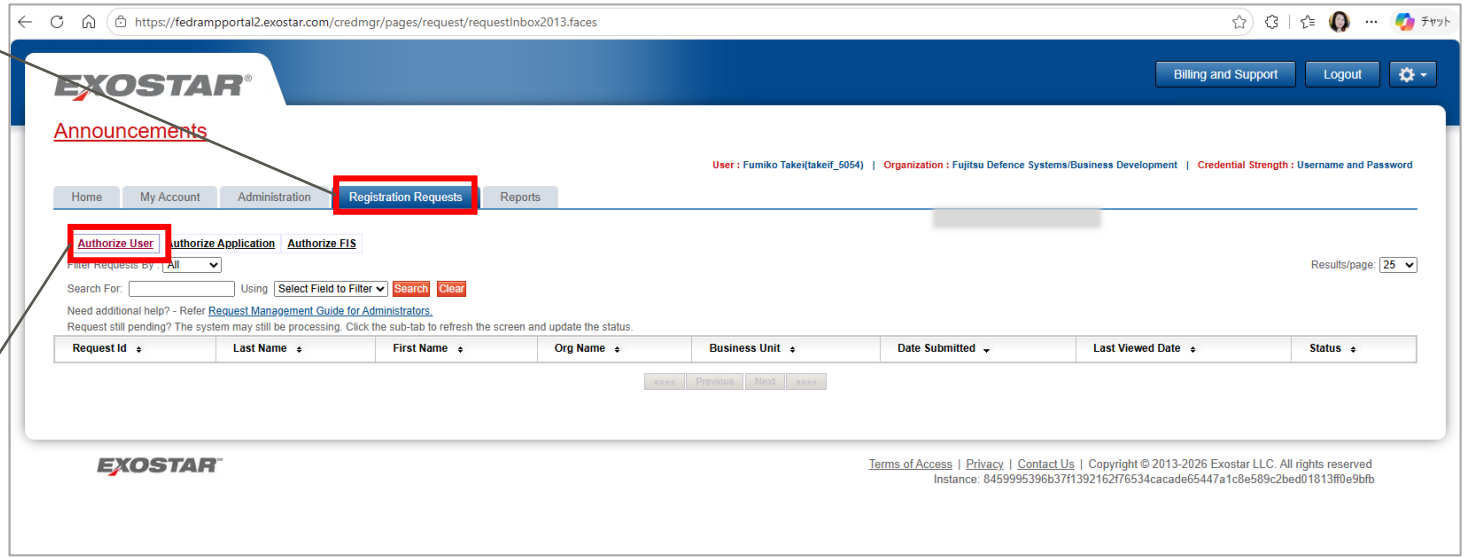
- ユーザーからの承認リクエストを確認し、承認/否認します。

Registration Requests

ユーザーからの承認依頼を確認し、承認または否認

Authorize User

ユーザーを選択しユーザーの承認または否認を実施



承認処理後、反映されるまで5分ぐらいかかる。

© 2026 FUJITSU LIMITED

- チームを管理するための画面です。

チーム選択

管理するチームを選択

チーム詳細

チーム情報表示・設定

チームメンバー

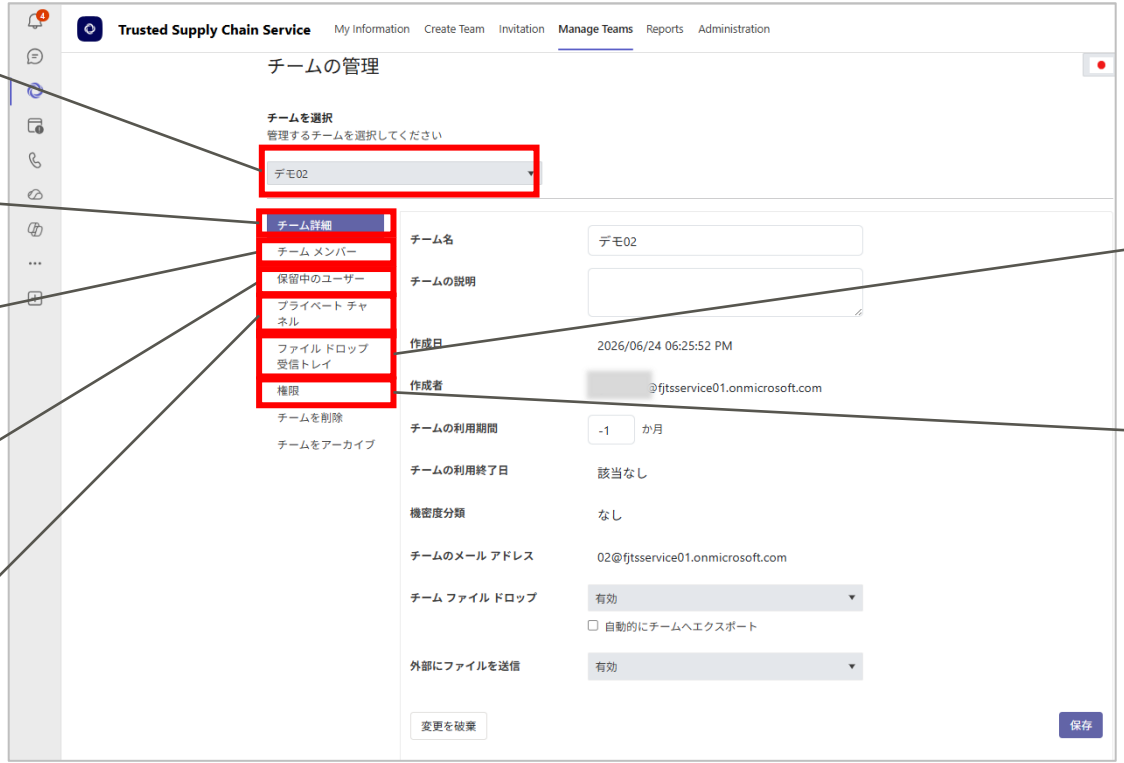
チームメンバーを表示し、ロール変更が可能

保留中のユーザー

招待し参加保留中のユーザーを表示

プライベートチャネル

個別チャネルの作成・編集



ファイルドロップ受信トレイ

ファイルの入出力リストを表示し、内容を確認

権限

チームやチャネルの権限およびダウンロードの可否を設定

© 2026 FUJITSU LIMITED

■ チームの詳細設定画面です。

チーム詳細

チームの詳細情報を確認・設定可能

チーム情報

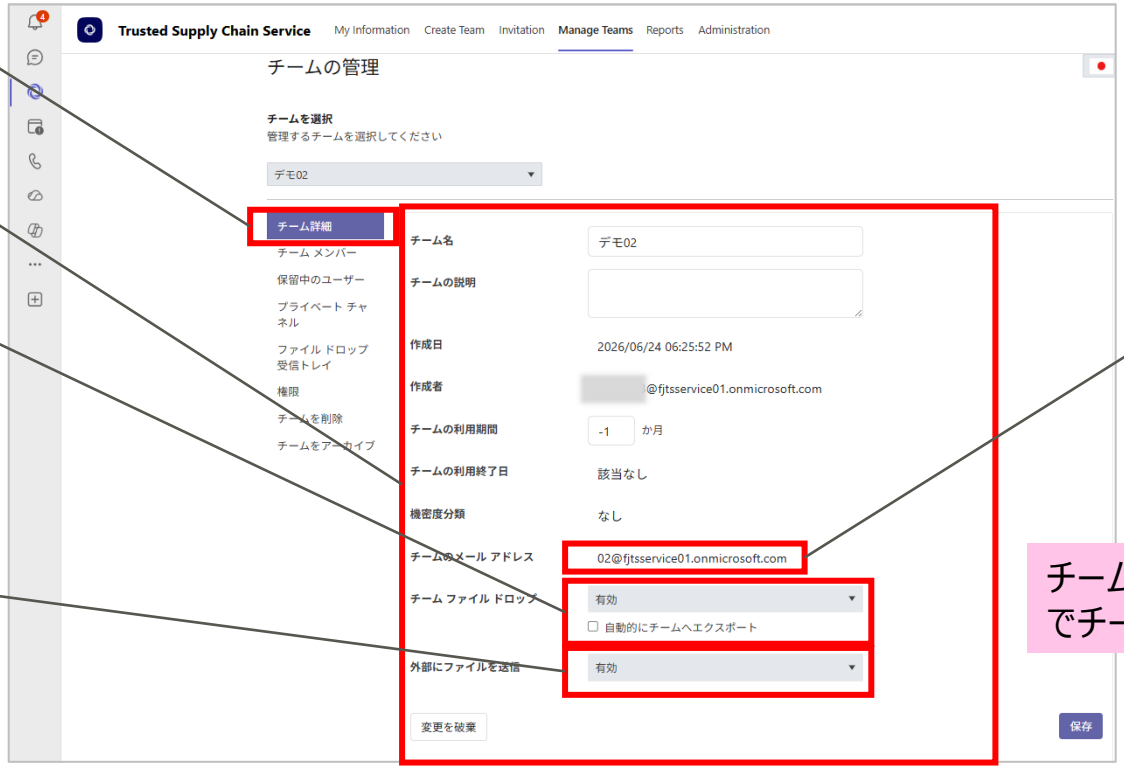
チームの設定情報

チームファイルドロップ

ファイルの外部送受信の可否を設定
受信メールおよび添付ファイルの自動保存を可否設定

外部にファイルを送信

チームの共有ファイルをメールで外部に送信する機能の可否設定



チームEメールアドレス

チーム固有のEメールアドレスで外部ユーザーとのやりとりに利用

チームに一意のメールアドレスでチーム外とのやりとりが可能

© 2026 FUJITSU LIMITED

MM365> MM365> チーム管理> チームメンバー

- チームメンバーの確認・設定を行います。

チームメンバー

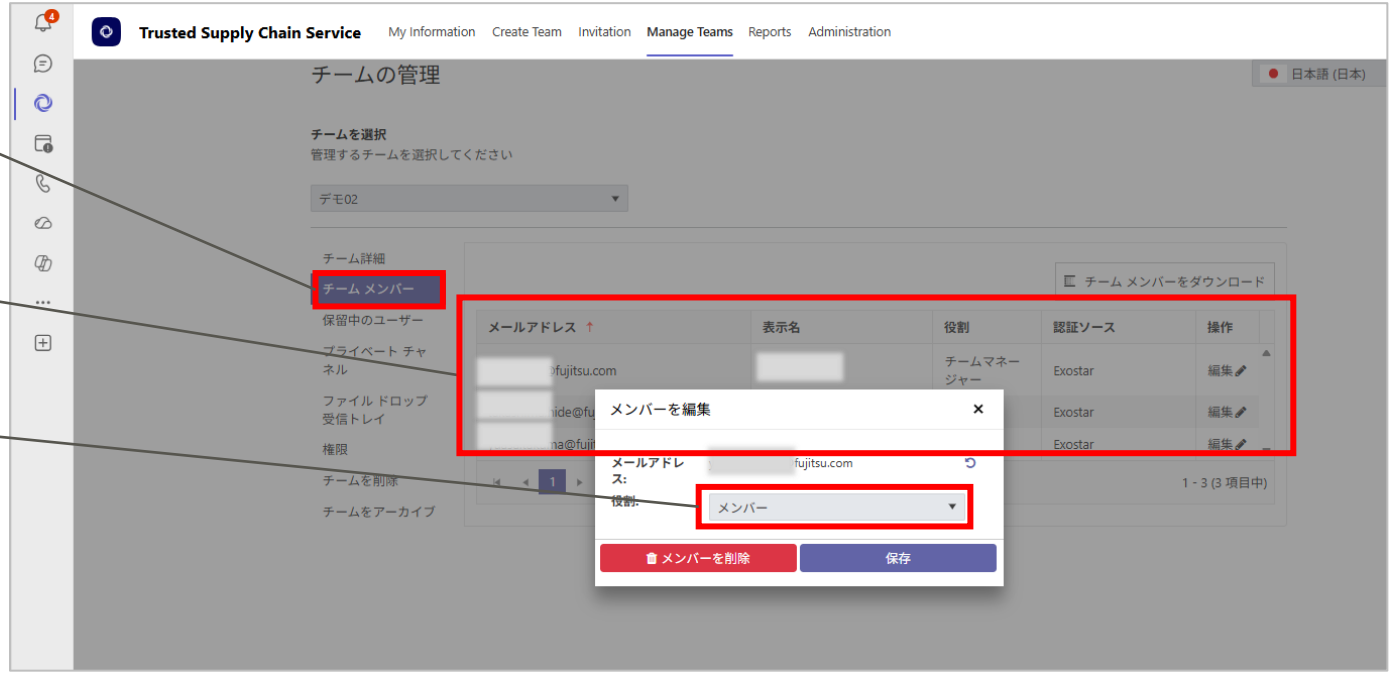
チームメンバーの設定が可能

チームメンバー一覧

チームのメンバー一覧

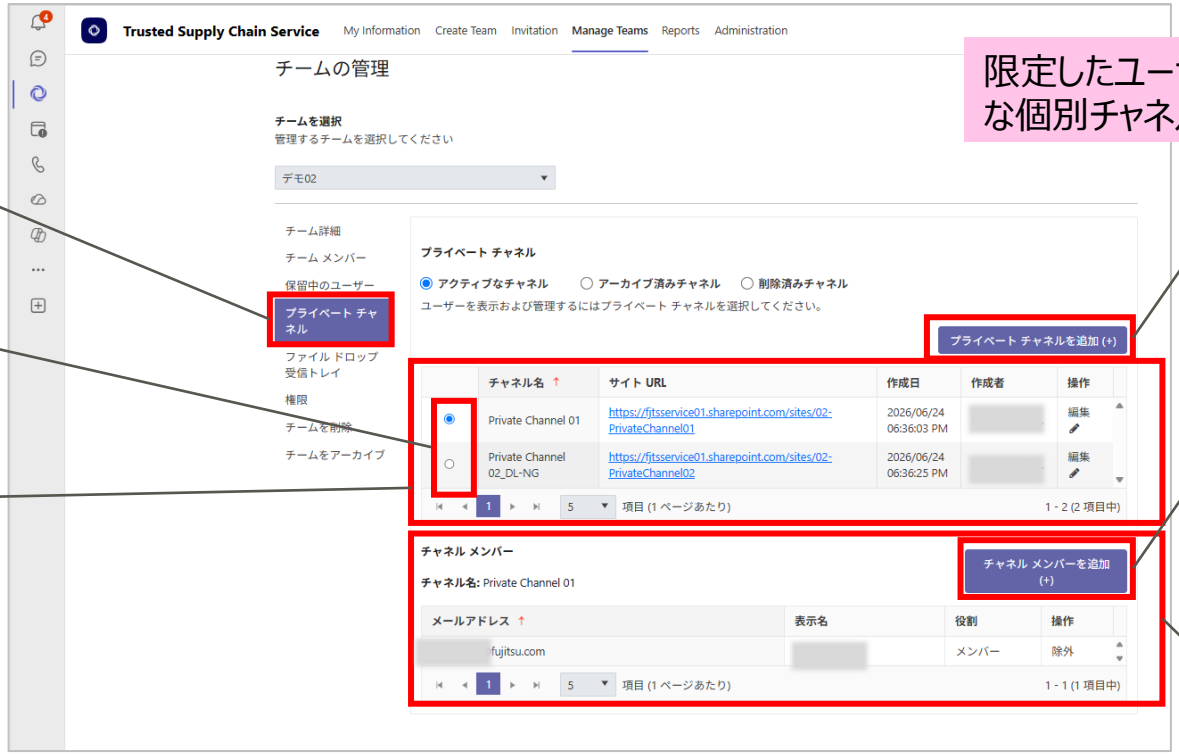
メンバーの役割

メンバーの役割を、チームマネージャーかメンバーから選択



© 2026 FUJITSU LIMITED

- メンバーを限定して利用するためのプライベートチャネルを作成・設定します。



限定したユーザーでアクセス可能な個別チャネルを作成可能

プライベートチャネル
プライベートチャネルの設定が可能

チャネル選択
確認・設定したいチャネルを選択

チャネル一覧
プライベートチャネルの一覧

チャネル追加
チャネルを追加

チャネルメンバー追加
チャネルにメンバーを追加

チャネルメンバー
チャネルメンバー一覧

© 2026 FUJITSU LIMITED

- ファイルドロップボックスを利用して外部との送受信情報を確認します。

外部との送受信ボックスで送受信ログの確認およびチームへの情報取り込みが可能

ファイルドロップ受信トレイ

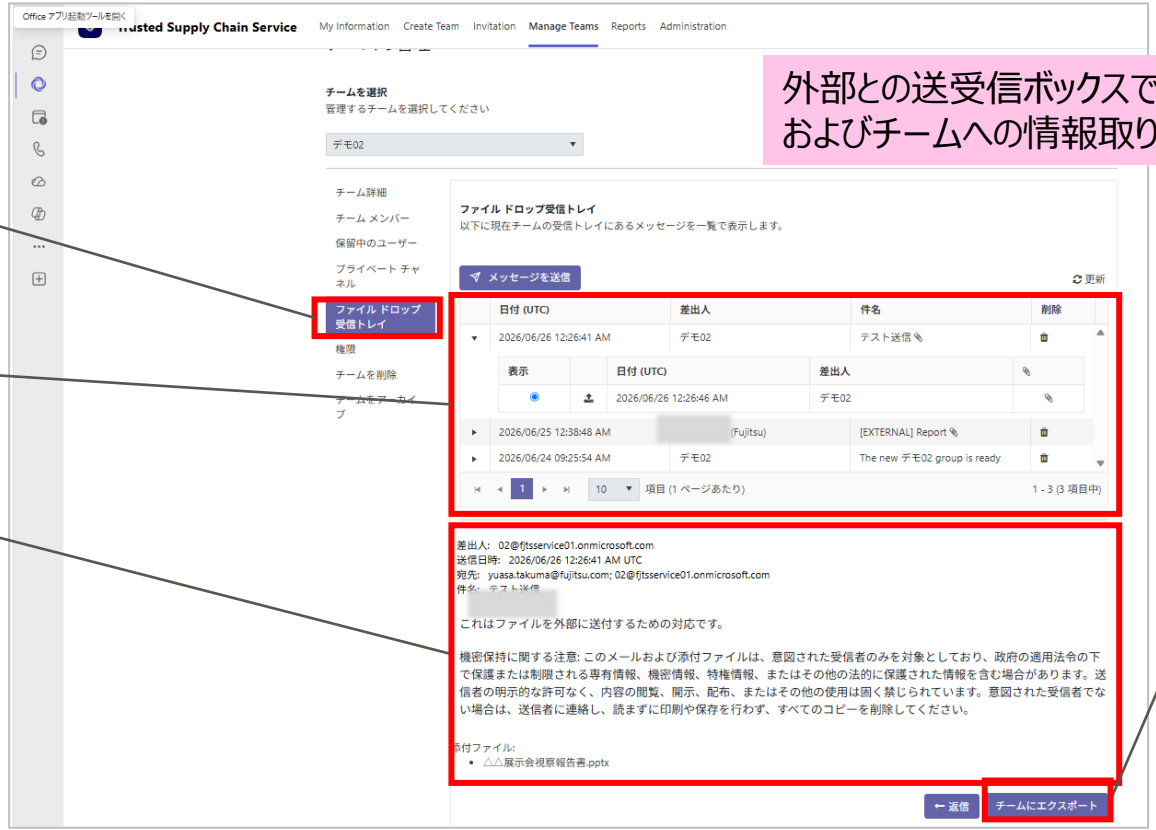
外部との送受信ボックスの確認操作が可能

送受信一覧

外部との送受信一覧表示

入出力データ表示

外部との送受信情報の内容表示



チームにエクスポート

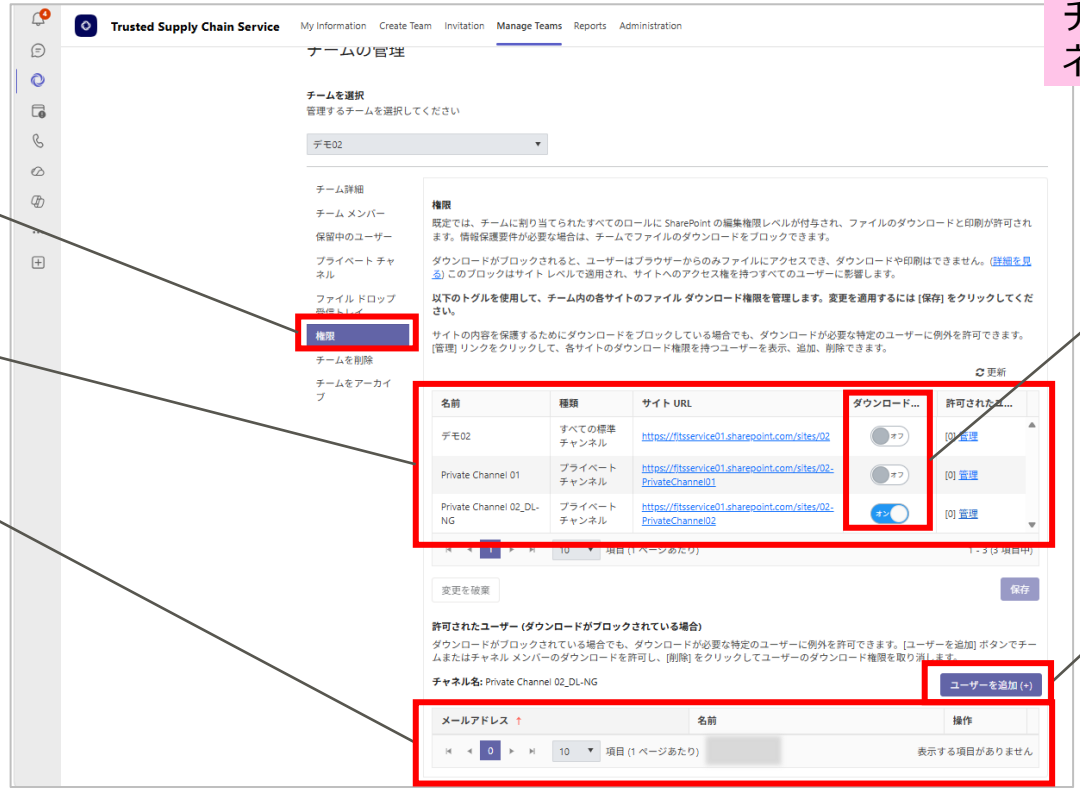
メール本文と添付ファイルをチームの共有フォルダに保存

© 2026 FUJITSU LIMITED

MM365＞MM365＞チーム管理＞権限設定

■ チームやチャネルの権限設定を行います。ダウンロードの可否設定が可能です。

チームおよびプライベートチャネルの権限設定を行う



権限
権限設定が可能

チーム・チャネル一覧
チーム・チャンネルを一覧表示

ユーザーリスト
ダウンロード不可設定の際にダウンロードを許可するユーザー一覧

ファイルダウンロード
チームやチャネルでのファイルダウンロードの可否を設定

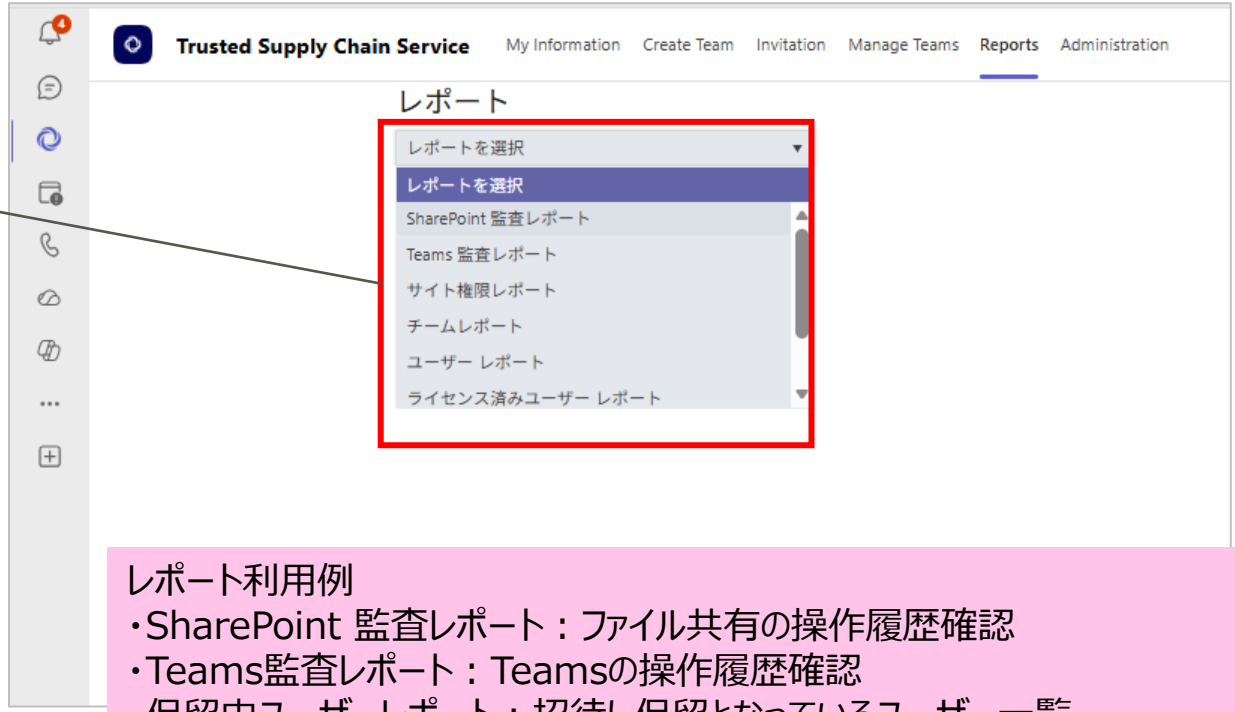
ユーザーを追加
ダウンロード不可設定の際にダウンロードを許可するユーザーを追加

© 2026 FUJITSU LIMITED

- レポート出力を行います。ファイル操作履歴などを確認します。

レポート選択

出力したいレポートを選択



レポート利用例
・SharePoint 監査レポート：ファイル共有の操作履歴確認
・Teams監査レポート：Teamsの操作履歴確認
・保留中ユーザーレポート：招待し保留となっているユーザー一覧

© 2026 FUJITSU LIMITED

- チームのユーザー情報を確認します。

ユーザー管理

ユーザーを検索して情報を確認

メールアドレス

確認したいメールアドレスを入力して検索

ユーザー情報

検索された該当ユーザーの情報表示



© 2026 FUJITSU LIMITED

MM365＞MM365＞管理＞ライセンス

日本語画面への差替え

- チームのライセンス使用状況を確認します。

ライセンス
ライセンスの状況確認

ライセンス使用状況
ライセンスの契約数、使用数、残数を表示

ストレージ使用状況
ストレージの契約容量、使用量、残量を表示

チーム外部入出力設定
チームの外部入出力表示の設定状況表示

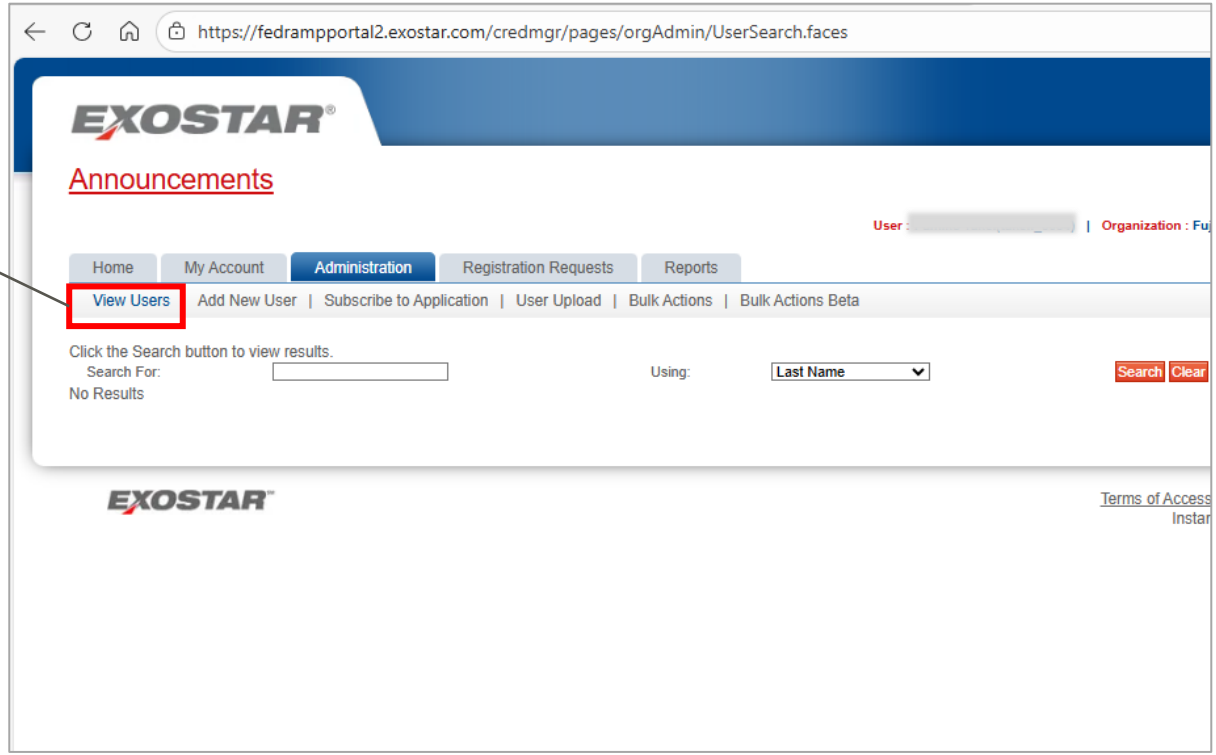


© 2026 FUJITSU LIMITED

- ユーザー情報を確認します。

View Users

ユーザーを検索し、
ユーザーの情報を確認、
編集が可能



© 2026 FUJITSU LIMITED

MAG＞Administration＞View Users

マスキング追加

- ユーザー情報を確認し設定を行います。

User Profile

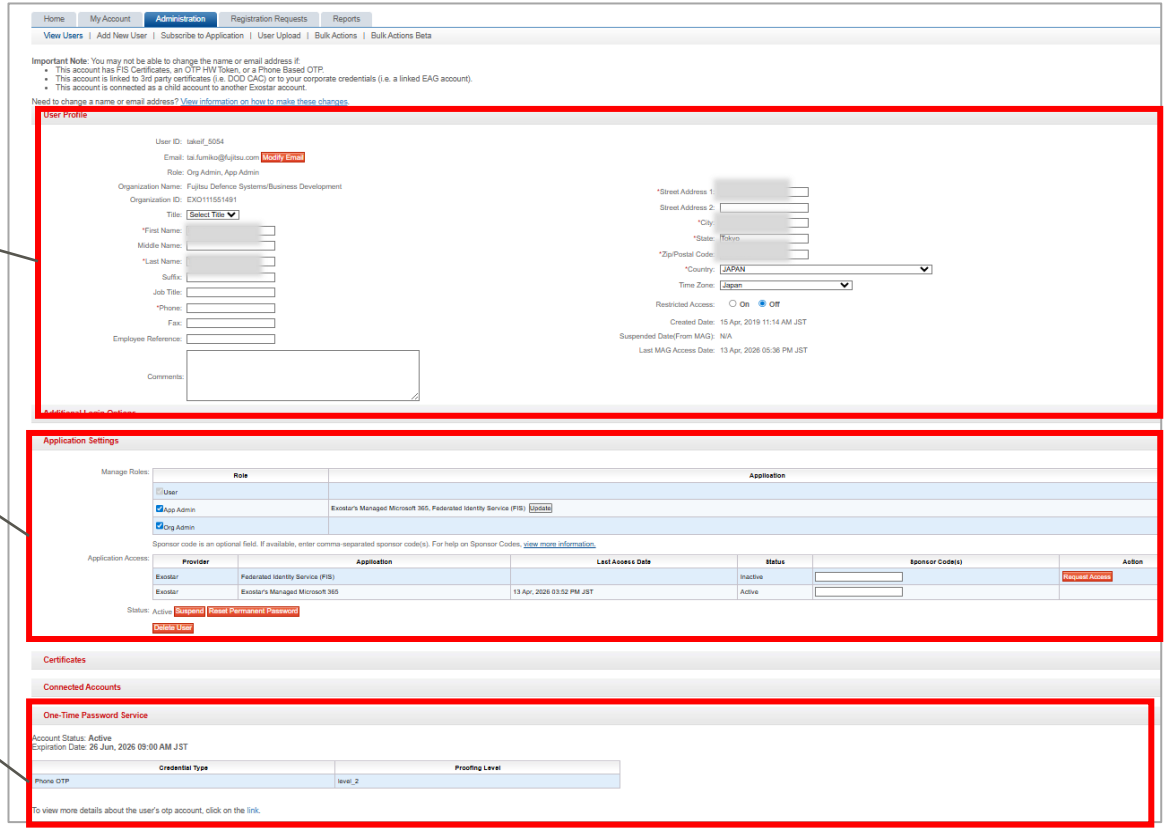
ユーザー情報の確認・編集を実施

Application Settings

利用できるサービスの確認、パスワードのリセット、ユーザー削除を実施

One Time Password Servise

利用中のOTPサービスの種類と状態を



© 2026 FUJITSU LIMITED

MAG＞Administration＞Reports

- レポートを出力します。サービスログイン履歴、アカウントの状態・設定情報などを確認します。

Report

ユーザー情報、アカウントステータス、最終アクセス日時等を一覧出力



レポート利用例
・All Details Report：ユーザー一覧、最終アクセス日時確認
・Organization User Details Report：組織ユーザーのOTPの設定状況・有効期限確認

© 2026 FUJITSU LIMITED

- チームを削除します。

チームを選択

削除したいチームを選択

Delete Team

チームを削除



チームを削除

選択したチームを削除

© 2026 FUJITSU LIMITED

補足情報等

© 2026 FUJITSU LIMITED

動作条件

本クラウドサービスを適切にご利用いただくため、以下の動作環境を満たす必要があります。

- 対応OS
  - Windows 11
- ブラウザ
  - Google Chrome
  - Microsoft Edge
  - Mozilla Firefox

  ※古いバージョンのブラウザでは正しく動作しない場合があります。
- 利用条件
  - 保存できる最大ファイルサイズ　：250GB
  - 保存できる最大ファイル数　：3000万ファイル
  - 作成できるチーム数　：50万チーム
  - 作成できるチャネル数　：3000チャネル　※プライベートチャネルは30チャネル
  - 総容量　：チーム全体でアカウント数×１GB

※本サービスは、予告なく動作環境の変更・更新を行う場合があります。

© 2026 FUJITSU LIMITED

ユーザーの役割と操作権限

Task	Sponsor Admin	Team Manager	Member	Guest
Create Team	○	×	×	×
Add Team Member	○	○	×	×
Edit Team Name/Description	○	○	×	×
Delete Team	○	×	×	×
Create Channel	○	○	○	×
Edit Channel Name/Description	○	○	○	×
Delete Channel	○	○	○	×
Add Apps	○	○	○	×
Add Partner Domain	○	×	×	×
Add Team Manager	○	○	×	×
Add Sponsor Admin	○	×	×	×
View Reports	○	×	×	×

© 2026 FUJITSU LIMITED

提供情報

- マニュアルリンク先
  https://portal.trusted-supplychain.jp

- サービスに関するお問合せ先
  - 富士通サポートデスク
    contact-fjtsservice@cs.jp.fujitsu.com

- その他のお問合せ先
  - 担当営業までお願いします。

© 2026 FUJITSU LIMITED

Thank you



© 2026 FUJITSU LIMITED